

教科名〔 芸術 〕

科目名	単位数	学年・組	担当者名
美術	2単位	2年 1,2,5,6組	*

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	美術の創造的でさまざまな活動を体験させること 美的体験を豊かにすること 美術を愛好する心情を育てること 感性を高めること 講義実習を通して個性豊かな美術の能力を高める
使用教科書・副教材等	光村図書『美術2』 プリント教材

2 学習計画及び評価法等

学期	学習内容	月	学習のねらい	備考 1. 学習活動の特記事項 2. 副教材の使用など	考查範囲	評価の観点のポイント			
						態度・関心・意欲	思考・判断	技能・表現	知識・理解
第1学期	飛び出す絵本製作 紙の折り曲げ構成 演習を通しての造形研究 表紙デザイン 装丁演習	4 ・ 5	- 本の構造を知る。 - 紙の性質を知り、立体的な絵の表現、構成を考える。 - どんな本を作りたいか構想を練り、自分なりの工夫をし、制作する。		第1学期中間考查	○		○	○
	版画制作 ドライポイントによる自画像制作 2版多色刷り	5 ・ 6 ・ 7 ・ 8	- 自分を描くことで、自己を客観的に見つめる。 - 版画の特性を知る。		第1学期期末考查	○	○	○	○
第2学期	パネル上の平面的表現 ポスター制作	9 ・ 10	- ビジュアルコミュニケーションについて理解し、その表現の可能性について考察する。 - レタリングの応用。		第2学期中間考查	○	○	○	

	木彫で野菜を作る	10 ・ 11 ・ 12	○ 自然物の特徴をよく観察し、量感のある塊を表現できるようにする。 ○ 素材である木の性質などについて理解する。 ○ 道具や用具の使用法を学び、それらが正しく使用できるようにする。		第2学期期末考査	○		○	○
第3学期	静物画、スケッチ 鉛筆デッサン 野菜、ピン等、 構成について。 油彩画制作 静物画8号程度	1 ・ 2 ・ 3	○ 静物画を通して表現方法について考える。 ○ モチーフの構成を考え自由に配置し、組み立てることによって静物画における構図や主題について理解を深める。 ○ 油彩画を通して、水彩画では得られなかった感動や、表現の幅の広がりを得る。		学年末考査	○		○	○
【1・2・3学期における課題・提出物等】 各作品、演習プリント等									
【1・2・3学期における評価方法】 各作品、演習プリント、平常点等を、総合的に判断する。									